会社の体質改善法（第5回）

売掛債権の回収手段を多角化して倒産防げ

2020.05.27



猛威を振るう新型コロナウイルスの感染拡大が、企業経営にも大きな影響を及ぼしている。東京商工リサーチの調べによると、感染拡大の影響で倒産した企業の数は3月末の時点で25社。それが5月1日には114社と急増した。中でも、負債額3億円未満の小型倒産が半数以上を占める。

中小企業経営を取り巻く状況は厳しさを増す。万一を考えた対策が急務となっている。その際のポイントの1つが売掛債権の回収だ。商品を納入した売掛先の経営状態が悪化し、売掛金や受取手形が期日を過ぎても現金化できない。それにより、自社の資金がショートして資金繰りが行き詰まる……。こうした事態が容易に生じ得る状況だ。

たとえ、売掛債権が無事に回収できたとしても、その期間が長ければ企業の財務状況は悪化する。売掛債権の管理は、経営者の非常に重要な業務といえる。心掛けておきたいのが、売掛債権回収手段の多角化だ。

売掛債権回収（現金化）の有力な方法として、最近注目を浴びているのがファクタリングである。ファクタリングとは、売掛債権を買い取る金融サービスのこと。具体的には、入金が行われていない請求書（売掛債権）をファクタリング会社が買い取り、その対価を売却企業に支払う形を取る。売却企業は請求書の支払期日前に現金を受け取れ、借り入れにも当たらない。信用力の低い中小企業にとって、資金調達の有効な手段となる。

ファクタリングは2種類ある… 続きを読む